

MITSUBISHI

三菱 電気温水器 ダイアホット

時間帯別電灯/深夜電力(8時間) 通電制御型

高圧力型 電気温水器

- 形名 SRT-3766CFU-BL (タンク容量:370L)
- SRT-4666CFU-BL (タンク容量:460L)
- SRT-4666CFUM-BL (タンク容量:460L)
- SRT-5566CFU-BL (タンク容量:550L)

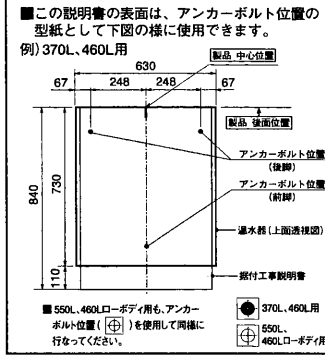


標準圧力型 電気温水器

- 形名 SRT-3766CF-BL (タンク容量:370L)
- SRT-4666CF-BL (タンク容量:460L)
- SRT-4666CFM-BL (タンク容量:460L)

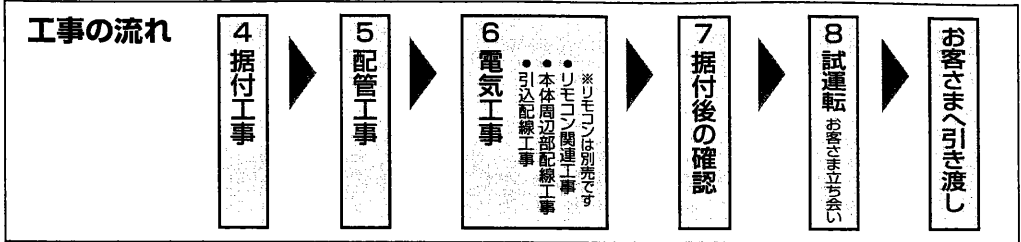


この据付工事説明書は再生紙を使用しました。



据付工事説明書 販売店・工事店さま用

- この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事の前にこの「据付工事説明書」を必ずお読みください。
- 高圧力型 ●事業者さまが事務所、店舗などでご使用される場合は、労働安全衛生法の規程があり、特別な対応が必要です。必ず、販売会社担当部門にお問い合わせください。(同梱されている「事業者さまへのご案内」を必ずお読みください。)



安全のために必ずお守りください

■本文中に使われる図記号の意味は次のとおりです。

- 禁止
- アース線接続
- 指示に従い行う

警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があるもの

<p>必ずアース工事をする</p> <p>工事に不備があると、故障や漏電のときに感電することがあります。</p>	<p>ガス類や引火物の近くには据付けない</p> <p>発火・火災になることがあります。</p>	<p>漏電遮断器の動作を確認する(2カ所)</p> <p>故障のまま使用すると、感電することがあります。</p>
<p>屋外で開梱する場合は、風が当たらない安定した場所に仮置きする</p> <p>強風によって製品が転倒し、事故の原因になります。</p>	<p>電気工事を行うときは電源ブレーカーを「切」にする</p> <p>感電することがあります。</p>	<p>階下給湯は5m以内とする</p> <p>負担によりタンクが破裂し、やけど・水漏れの原因になります。</p>
<p>湿気が多い場所に据付けない</p> <p>浴室など湿気が多い場所に据付けると、火災・感電の原因になります。</p>	<p>満水時の重量に耐える基礎工事を行う</p> <p>事故・故障の原因になります。</p>	<p>上水道直結の配管工事や電気工事は、必ず指定工事業者が行う</p> <p>【上水道直結の配管工事】 当該水道局(水道事業管理者)の認定水道工事業者が、指定された配管材料を使用し行ってください。 【電気工事】 電気設備基準及び内線規程に基づいて、指定業者が行ってください。</p>

注意 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

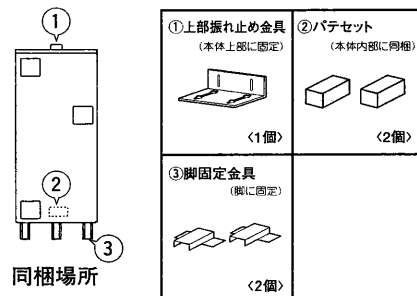
<p>凍結防止対策を行う</p> <p>凍結すると、本体が破損したり、配管が破裂してやけどをすることがあります。</p>	<p>床面の防水・排水処理工事をする</p> <p>処理工事しないと、水漏れが起きたとき、大きな被害につながる可能性があります。</p>	<p>脚をアンカーボルトで固定する</p> <p>固定しないと地震のとき、本体が倒れけがをすることがあります。</p>
<p>2階以上に据付ける場合は、上部振れ止め金具で本体を固定する</p> <p>固定しないと地震のとき、本体が倒れけがをすることがあります。</p>	<p>水道水を使用する</p> <p>水漏れ、故障の原因になります。</p>	<p>工作業中は手袋を着用する</p> <p>金属端面によるけがや高温部接触によるやけどの原因になります。</p>
<p>雨や雪が降ったとき、水たまりができて水につかるようなところには据付けない</p> <p>感電することがあります。</p>	<p>定格を確認して使用する</p> <p>発火・火災になることがあります。</p>	<p>据付工事には、三菱純正別売部品を使用する</p> <p>事故・故障の原因になります。</p>

1. 据付工事をされる方へ

- この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事の前に「安全のために必ずお守りください」を必ずお読みください。
 - 工事後は、取扱説明書、工事確認書、明細書とともに、お使いになるお客さまにお渡し、保管していただくよう依頼してください。
 - この説明書に記載されていない方法や保証書と適合しない内容で工事された場合、また、指定の純正別売部品を使用せず工事された場合、事故や故障が生じたときには責任を負いかねます。
 - この製品はリモコン(別売)を接続しないと動作しません。必ずリモコンを接続して使用してください。
- 【お願い】
○運搬するときは本体上部のどとて脚を持ってください。また、高層住宅などへのつり上げ運搬は、つり上げ台を使用してください。
○製品の上面には上がらないでください。変形することがあります。
○メンテナンスのための十分なスペースを確保してください。(前方 600mm以上)
- 本体1台に対して接続できる浴槽は1つです。
 - 降雨中は前面カバーを開けないでください。
 - 他の温水器との複数接続はできません。
 - 本体と太陽熱温水器との接続はできません。
 - 本体内蔵減圧弁からの2次給水はできません。

2. 同梱付属品

次の部品が付属されています。



3. 純正別売部品

必要な部品			
No.	部品名	形名	個数
1	台所リモコン 浴室リモコン	RMC-6K RMC-6B	1 1
2	浴槽アダプター(直管おねじ) (選択) 浴槽アダプター(直角おねじ)	GT-D76 GT-D78	1 1
3	リモコンケーブル(2芯 20m) (選択) リモコンケーブル(2芯 50m)	LM-620 LM-650	1 1
4	絶縁バイパス(20A 0.5m)給湯用・給水用 絶縁バイパス(15A 0.5m)ふろ用	GT-61B GT-62B	2 1
5	アース線	GT-30B	1
※リモコンケーブルは、台所リモコン、浴室リモコン各1本ずつ必要です。設置状況に合わせて選んでください。			
条件により準備する部品			
No.	部品名	形名	個数
6	正面設置用 脚部カバー(370L、460L用) 正面設置用 脚部カバー(550L、ローボディ用)	GT-D460A GT-D550A	1
(選択)	横向き設置用 脚部カバー(370L、460L用) 横向き設置用 脚部カバー(550L、ローボディ用)	GT-D460B GT-D550B	1
7	空気抜き弁	GT-20B	1
8	エコード用100Vトランス	BL-166CF	1
※脚部カバーを取付ける場合、温水器本体を据付ける前に脚部カバーの支持棒を本体に取付けてください。			
仕様確認のうえ現地調達可能部品			
No.	部品名	形名	個数
8	アンカーボルトM12(30本入)	GZ-B1	1
9	アンカーボルトM10(50本入)	GZ-B2	1

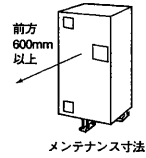
製品 後面位置

製品 中心位置

4. 据付工事

据付場所の選定

- 温水器と建物とのすき間寸法は各都市の防災条例に従ってください。
- 雨や雪が降ったとき、水たまりができて水につかるようなところには絶対に据付けしないでください。
- 積雪地区に据付ける場合には、雪を防ぐために小屋がけをしてください。
- 浴室など湿気の多いところには据付けしないでください。
- 配管の放熱ロスを少なくするため、使用頻度の多い台所近くが最適です。
- 室内（機械室など）に据付ける場合は通気口を設け、密閉室にしないでください。
- 保守、点検に必要なスペースを確保してください。また、本体が故障したときや交換時の搬入、搬出ができるように側面のスペースも考慮してください。



東京消防庁設置基準適合

この製品は「組込み形等電気機器の設置に関する自主基準」（平成6年11月18日改正社団法人日本電機工業会）設置基準適合品のため、建築物の可燃物等からの離隔距離は、上下、左右、前後方向とも0mm以上です。ただし、故障時や交換時などのメンテナンススペースを確保するため、右図に示す寸法を確保してください。

警告

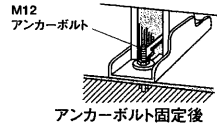
ガス類や引火物の近くには据付けない
発火・火災になることがあります。

【お願い】

脚部カバーを取付ける場合、温水器本体を据付ける前に脚部カバーの支持板を本体に取付けてください。

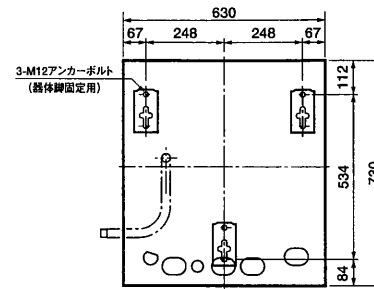
脚固定方法

- 脚は地震時の転倒防止のためアンカーボルトを使用して床面に固定します。3箇所必ず固定してください。



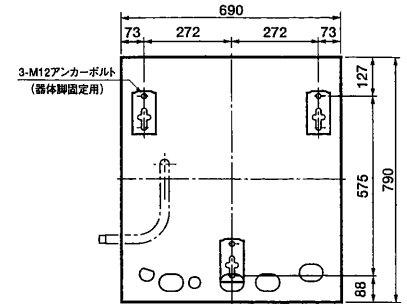
注意

脚をアンカーボルトで固定する
固定しない地震のとき、
本体が倒れてけがをすることがあります。



アンカーボルト位置:上面透視図

[SRT-3766CFU-BL, SRT-4666CFU-BL
SRT-3766CF-BL, SRT-4666CF-BL]



アンカーボルト位置:上面透視図

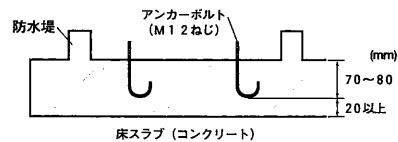
[SRT-5566CFU-BL
SRT-4666CFUM-BL
SRT-4666CFM-BL]

床面工事

- 満水時の質量（外形寸法図参照）に十分耐える基礎工事をしてください。（370L、460Lは寸法800×800mm以上、550L、ローボディタイプは寸法900×900mm以上）
- 屋内設置の場合は床面の防水、防水堤および排水処理工事を行なってください。

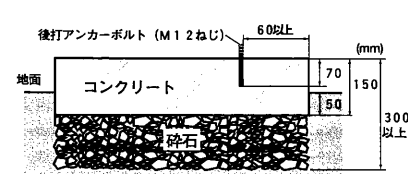
基礎工事

埋込みアンカーの場合（屋内の場合）

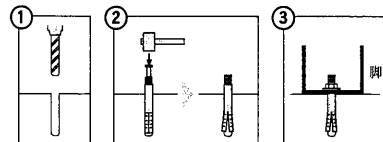


コンクリートの圧縮強度…18MPa (180kgf/cm²) 以上
アンカーボルト引き抜き力……………9800N (1000kgf) 以上

後打ちアンカーの場合（屋外の場合）



後打ちアンカーボルトの施工例



① ドリル等で予め穴をあけておきます。
② アンカーボルトを入れ、ハンマー等でピンを打ち込みます。（アンカーボルトは剛脚部を指します。）
③ ナットワッシャーをはめ、脚を固定します。



- 【お願い】
- ・買換え時、アンカーボルトの位置が異なっているときは、新たにアンカーボルトを打ってください。
 - ・後打ちアンカーボルトの場合は下表のものをご使用ください。

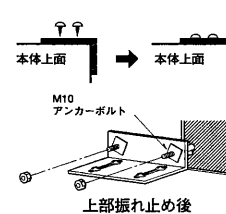
アンカーボルト(脚固定用 形名:GZ-B1) 寸法(mm)				
直径	全長	ねじの長さ	ドリル径	埋込み深さ
12	100	30	12.7	70

注意

床面の防水・排水処理工事をする
処理工事しないと水漏れが起きたとき、
大きな被害につながる可能性があります。

上部振れ止め工事

- ① 本体上面に取付けてある上部振れ止め金具を外し上向きに取付けます。
- ② 上部振れ止め金具を壁に固定します。

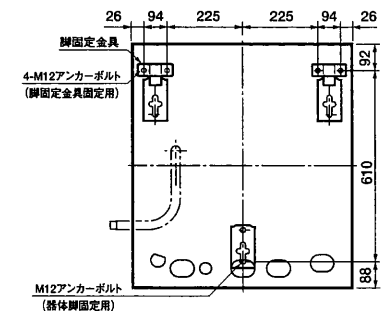


【お願い】・引張荷重が4900N (500kgf) 以上に耐える壁、または桟を設けてください。

- ・アンカーボルトは引き抜き力が2450N (250kgf) 以上になる施工をしてください。
- ・後打ちアンカーボルトの場合は下表のものをご使用ください。

アンカーボルト(脚固定用 形名:GZ-B2) 寸法(mm)				
直径	全長	ねじの長さ	ドリル径	埋込み深さ
10	60	25	10.5	35

- ・上部振れ止め金具を側面に取付ける場合、使用しないねじ穴は雨水が入らないように付属のシールでふさいでください。（シールは上部振れ止め金具に付いています。）

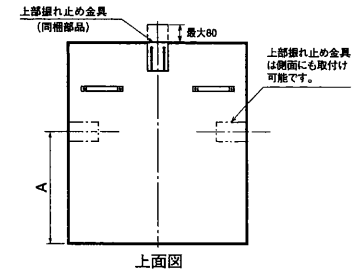


脚固定金具使用時:上面透視図

[SRT-3766CFU-BL, SRT-4666CFU-BL
SRT-3766CF-BL, SRT-4666CF-BL]

脚固定金具使用時:上面透視図

[SRT-5566CFU-BL
SRT-4666CFUM-BL
SRT-4666CFM-BL]



寸法(mm)	370L、460L	550L、ローボディ
A	384	444

注意

2階以上に据付ける場合は、上部振れ止め金具で本体を固定する
固定しない地震のとき、
本体が倒れてけがをすることがあります。

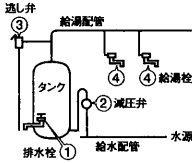
5. 配管工事

- 上水道に直結する場合は当該水道局の条例に基づき認定水道工事業者が、指定された配管材料を使って施工します。
- 水は、必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用します。
塩分、石灰分、その他の不純物が使用水に多く含まれていたり、酸性水質の地域での使用はさせていただきます。
井戸水などは水質によって故障の原因となりますので、ご使用しないでください。
- 水源水圧は、200kPa(2.0kgf/cm²)以上が必要です。
- 温水器回りの配管部品は、保守、点検がしやすいように取付けます。
- 水栓は逆止弁付湯水混合栓を使用してください。使用する蛇口によっては、出湯量が少ない場合があります。特に浴室ではやけど防止のためサーモスタット付湯水混合栓を使用してください。(サーモスタット付湯水混合栓を使用する場合、構造により出湯量が極端に少ない場合があります。ご使用になるときは、最低必要圧力、シャワーヘッドなどの仕様を確認して選定してください。手元ストップシャワー、マッサージシャワー等のシャワーヘッドでは出湯量が少なくなります。)
- 逃し弁、減圧弁は当社純正部品を使用しています。交換する場合も、三菱純正部品をご使用ください。
- トレンホースは必ず排水ホッパーに導いてください。万の一の水漏れ被害を防ぎます。
- 必ずふろ配管工事を行なってください。

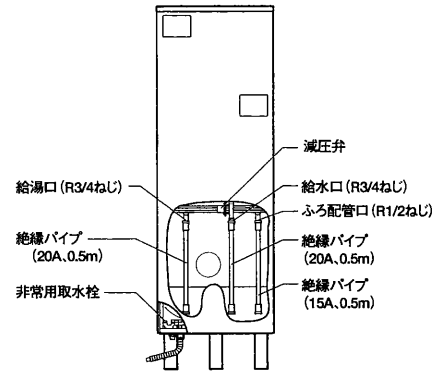
注意
水道水を使用する水道水を使用しないと故障の原因になります。

- 【お願い】**
- 配管材料をろう付けした場合は、ろう付け箇所のフラックスや温水器のケースに飛散したフラックスを濡らした布できれいに拭き取ってください。
 - 給湯配管は、管の膨張収縮がありますので、コンクリート壁やスラブを貫通するときはスリーブを使用し、埋設配管するときは管を固定しないでください。
 - 配管接合部のシール材は耐熱・耐食性のある材料を使用してください。
 - 配管材料はネジ切り・切断などの際、油やゴミが付着しますので加工後は必ず中性洗剤で洗浄してから配管してください。また、キズやバリが無いように面取りを行なってください。(過水後は各水栓、減圧弁などのストレーナーにゴミがたまっていないか点検してください。)
 - シールテープを使用する場合は、ネジ部よりみ出さないようにしてください。
 - 減圧弁1次側の水圧検査は、750kPa(7.5kgf/cm²)以下で行なってください。

- 耐熱塩ビ管 (HT管など) を接着接続した場合は、接着剤が減圧弁ストレーナー等へ付着しないよう硬化後に洗浄してください。使用する接着剤の種類、使用量、養生時間などは接着剤メーカーの説明書に従ってください。接着剤やフラックスが温水器のタンクに入り、湯から蒸気が発生した場合は以下の加温を行なってください。
- ① 一度タンク内の水をわき上げた後、排水してください。タンク内の洗浄をしてください。(100L程度の水を2回くらい入れ替えてください。)
 - ② 減圧弁のストレーナーの清掃または交換をしてください。
 - ③ タンクを満水にしてください。
 - ④ 逃し弁からも1~2分程度排水してください。
 - ⑤ 配管内を洗浄するために、各給湯栓から10分程度、水を流してください。



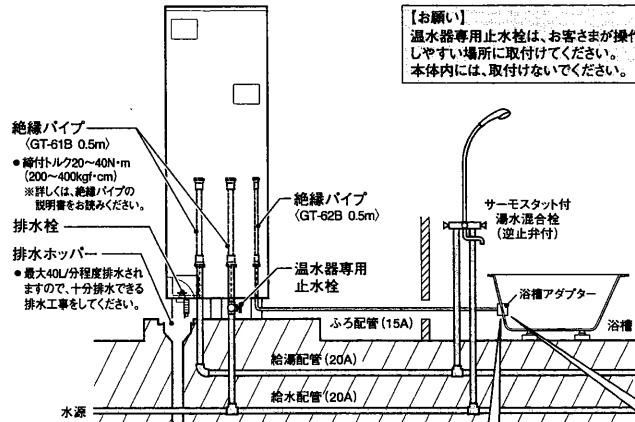
本体内部配管工事



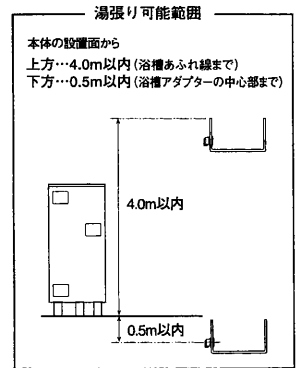
- 温水器底面の各配管口について**
- ① 各配管口のゴムフッシは本体と配管の絶縁をします。外さないでください。
 ゴムフッシ
本体
配管
 - ② 本体と配管のすきまは、同梱のパテでシールしてください。(万一、タンク等から漏水した時、大きな被害につながるおそれがあります。) シール方法については付属の工事説明書をお読みください。

標準配管例

絶縁パイプ以降の給水配管・給湯配管及び、ふろ配管は現地準備してください。

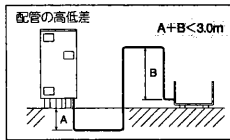


- 【お願い】**
温水器専用止水栓は、お客さまが操作しやすい場所に取付けてください。本体以内には、取付けないでください。

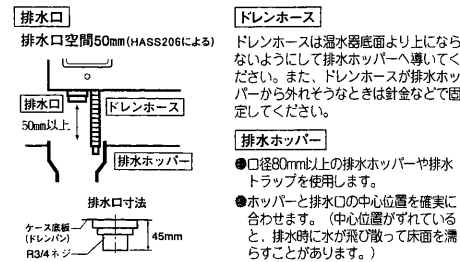


本体配管、ふろ配管工事

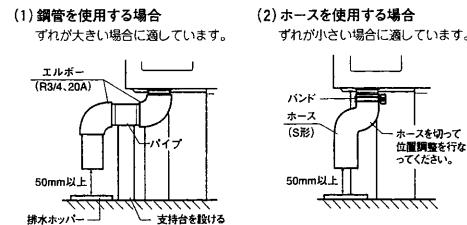
配管	使用する配管材	絶縁パイプ	施工上の注意事項
給水配管	耐熱・耐食性を有するもの (鋼管など)	GT-61B (20A, 0.5m)	● タンクの掃除や点検など排水するときに必要な温水器専用止水栓 * を取付けてください。 * 水漏れや故障のときなど水源を止めるために必要です。必ず温水器専用にしてください。また、お客さまが操作しやすい場所に取付けてください。本体以内には、取付けないでください。
給湯配管	耐熱・耐食性を有するもの (鋼管など)	GT-61B (20A, 0.5m)	● 給湯配管は、20A (3/4) の配管を使用します。 ● 階下給湯は5m以内にしてください。詳しくは「階下給湯」の項を参照してください。
ふろ配管	耐熱・耐食性、絶縁を有するもの (鋼管・耐熱樹脂管・HT管など)	GT-62B (15A, 0.5m)	● ふろ配管は、15A (1/2) の配管を使用します。途中に絶縁パイプ (GT-62B) を取付けてください。 ● φ12.7ペアチューブの場合は、耐熱樹脂管を使用します。 ● 配管長さは15m10曲りまでです。(φ12.7ペアチューブの場合は、浴槽設置1階の条件で6m5曲りまでです。) ● 階下へのふろ配管はできません。 ● 配管の高低差はトータル3.0m以内にしてください。鳥居配管は1カ所までです。(右図) ● フレキ管を使用する場合は、温水器側、ふろ側各1m以内にしてください。 ● 浴槽アダプターは設置条件に合わせて、専用の純正別売部品を使用してください。
排水配管	耐熱性を有するもの (HT管など) 排水時に高温 (最高時約90℃) のお湯が排水される場合があります。	—	● 排水管は、内径50mm以上、配管勾配1/50以上にします。 ● わき上げ中に本体下部の排水口より少量の水が出ますので、必ず排水工事を行なってください。 ● 最大40L/分程度排水されますので、十分排水できる排水工事をしてください。



排水口付近拡大図



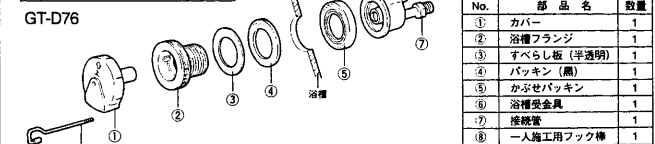
排水口と排水ホッパーの位置がずれている場合



浴槽アダプター取付け工事

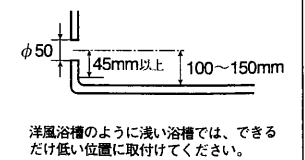
- 浴槽アダプターは、設置条件に合わせて専用別売部品 (GT-D76またはGT-D78) を使用してください。
- 取付け方法については、浴槽アダプターの工事説明書をお読みください。
- 浴槽内厚20mmまで取付け可能です。
- カバーの「上」印が上方になるように取付けてください。
- 取付けには別売の専用締付工具 (当社製GT-75K) を使用してしっかり (15N程度) 締め付けてください。

浴槽アダプター (別売部品)



浴槽穴あけ工事

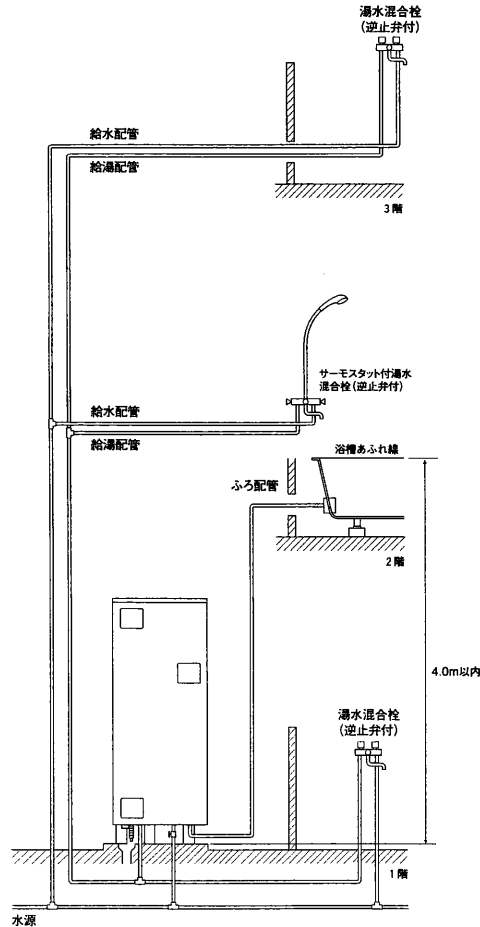
- 浴槽穴は、底面から100~150mmの位置にあけてください。
- 浴槽穴径のセンターからRじまいまでの寸法は45mm以上です。



特殊配管工事

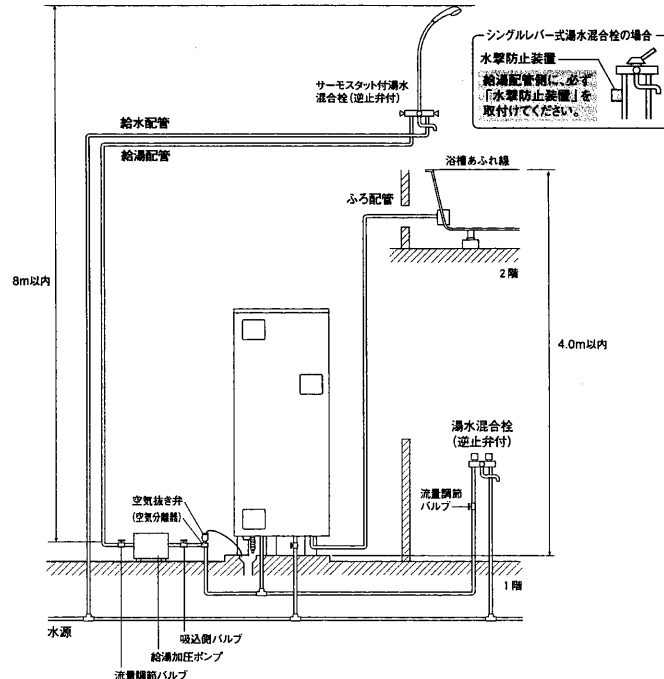
高圧力型

- 3階では、シャワーは使用できません。(手洗い程度であれば使用できます。洗顔洗面化粧台は使用できません。)



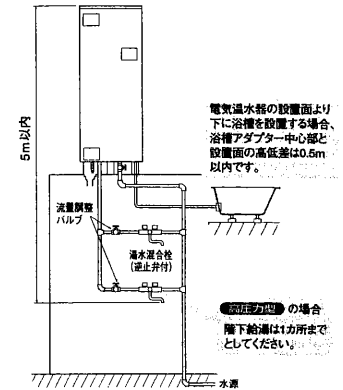
標準圧力型

- 標準圧力型の機種では、2階へ給湯する場合、給湯加圧ポンプが必要です。出力は50Wまで、圧力スイッチ・フロースイッチ併用方式の機種を使用してください。取付け方法等については、給湯加圧ポンプの説明書をお読みください。また、電源は必ず漏電遮断器付きの電源をご使用ください。給湯加圧ポンプの推奨品としては、九州松下電器製 (PH-202GT5.05 (50Hz用)、PH-202GT6.05 (60Hz用)) があります。
 - 空気抜き弁を必ず取付けてください。ポンプに空気が入るとお湯の出が悪くなりますので、ポンプの吸込管側の空気がたまりやすいところに垂直に取付けます。空気抜き弁を取付けてもポンプに空気が入り、お湯の出が悪い場合は、空気分離器を取付けてください。
 - ポンプの設置場所は、必ず防水工事をしてください。(修理・点検時の分解掃除などの際に水が漏れ出ることがあります。)
 - シングルレバー水栓使用時、ポンプにウォーターハンマー(水撃)がかかるおそれのある場合は、ポンプと水栓の間の配管に水撃防止器(市販品)を取付けてください。取付け方法等については水撃防止器の説明書をお読みください。
 - 1階、2階へ給湯する場合は、ポンプの前で1階給湯を分岐させてください。ポンプの後で分岐させると、1階でお湯を使用すると2階ではお湯が出なくなる場合があります。
- 【お願い】
- 空気抜き弁はゴミがかなり故障したときにビニルホースから湯が出ます。ビニルホースは、必ず、排水ホッパー(排水穴)等に通き、外れないように固定してください。
 - ポンプの配管には吸込側バルブ、流量調節バルブを取付けてください。
 - 1階取付けの場合は、ポンプと最も高い給湯栓(シャワー等)までの高さは8m以内にしてください。
 - 2階取付けの場合は、減圧弁と最も高い給湯栓(シャワー等)までの高さは8m以内にしてください。
 - 推奨品のポンプを使用した場合、ポンプの起動圧力は70kPaに初期設定されています。圧力スイッチを調整して、起動圧力が減圧弁の設定圧力(GT-T8Aの場合は80kPa)+10kPaになるようにしてください。(詳しくは給湯加圧ポンプの説明書をお読みください。)
 - ポンプの据付面から階下へは給湯できません。(温水器やポンプに負圧が発生し、破損・故障の原因になります。)



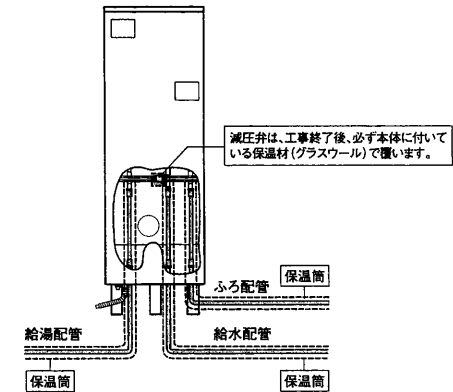
階下給湯

- 給湯配管は階下5mまで可能です。
- 高圧力型**の場合、階下給湯は、1カ所だけです。
- 給湯配管の途中に流量調節バルブを取付けてください。
- 給湯栓と温水器の高低差は5m以内にしてください。5mを超えると空気の混じったお湯が出て、飛び散ることがあり危険です。
- 空気の混ざったお湯が出る場合は、温水器への給水量が不足しています。流量調節バルブで、給水と給湯する量がバランスするように調節してください。



保温工事

- 配管接続部の水漏れの有無を点検してから保温工事をしてください。
- 地中配管や屋外など雨露のかかる保温箇所には適切な防水処理をしてください。
- 給湯、給水、ふろ配管は、必ず保温工事を行なってください。



凍結防止工事

- 保温工事があっても周囲温度が0℃以下になると配管は凍結します。機器や配管が破損する場合がありますので適切な凍結防止対策を施工してください。

注意

凍結防止対策を行う
凍結すると、本体が破損したり、配管が破裂してやけどをすることがあります。

【お願い】凍結防止対策の方法とその操作方法をお客さまに十分に説明してください。

凍結防止ヒーターによる方法

- ①凍結の恐れがある配管すべてに巻きます。(本体内部の配管については保温材による凍結防止を行なってください。)
- ②凍結防止ヒーターを巻く場合は凍結防止ヒーター同梱の「説明書」により施工します。
- ③凍結防止ヒーターは何本も使用しますので適当な位置にコンセントを設けます。

6. 電気工事

- 電気設備基準及び内線規程に基づいて必ず指定工事業者が行なってください。
- ブレーカー（配線用遮断器）および電線（ケーブル）の太さは内線規程（下表参照）に定められたものを使用してください。

●本体の形名と電源を確認してください。（下表）

形名	タンク 湯沸かし用	制御用電源
SRT-3766CFU-BL SRT-3766CF-BL SRT-4666CFU-BL SRT-4666CF-BL SRT-4666CFUM-BL SRT-4666CFM-BL SRT-5566CFU-BL	200V	200V
エコオート用100Vトランス（別売 形名: BL-166CF）を取付けた場合	200V	100V

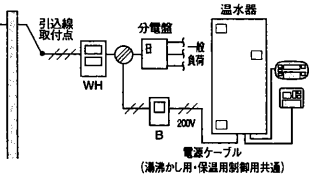
- 第2深夜電力（5時間通電）では使用できません。

- 「時間別電灯で使用する場合[B]」（下図）の引込み配線を行うときは、制御用電源として配線工事が必要です。
- 深夜電力で 사용되는場合は、制御用電源として昼間電力の配線工事が必要です。
- 制御用電源を100Vで施工する場合は、エコオート用100Vトランスが必要です。

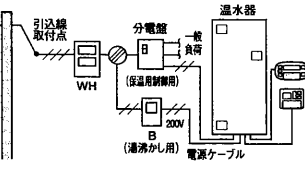
引込配線工事

引込口から温水器までの回路は以下のとおりです。

時間別電灯で使用する場合[A]

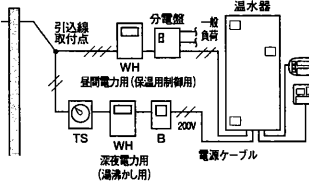


時間別電灯で使用する場合[B]



※[A]と[B]どちらの方法で施工するかは、所轄の電力会社の指導にしたがってください。
【お願い】引込線取付点とジョイントボックス間のケーブルの太さは、一般負荷と温水器を見込んだサイズにしてください。
【お知らせ】電気温水器用電源ブレーカー組込みの分電盤の場合は、分電盤より直接配線してください。

深夜電力で使用する場合[C]



記号の内容

記号	内容
WH	電力計
JB	ジョイントボックス
TS	タイムスイッチ
B	200V電源ブレーカー
—	単相3線
—	単相2線

ブレーカーの定格とケーブルの太さ・種類（時間別電灯で使用する場合[A]）

形名	定格電圧	定格消費電力	ブレーカー定格	ケーブルの太さ	種類
SRT-3766CFU-BL SRT-3766CF-BL	単相200V	4.43kW	30A	5.5mm ² (φ2.6mm)	VV
SRT-4666CFU-BL SRT-4666CF-BL SRT-4666CFUM-BL SRT-4666CFM-BL	単相200V	5.43kW	40A	8mm ² (φ3.2mm)	VV
SRT-5566CFU-BL	単相200V	6.43kW	50A	14mm ²	VV

ブレーカーの定格とケーブルの太さ・種類（時間別電灯で使用する場合[B]、深夜電力で使用する場合[C]）

形名	定格電圧	定格消費電力	ブレーカー定格	ケーブルの太さ	種類
SRT-3766CFU-BL SRT-3766CF-BL	単相200V（深夜電力） 単相200V（昼間電力）	4.4kW 0.03kW	30A 15A・20A	5.5mm ² (φ2.6mm) φ1.6mm	VV VV
SRT-4666CFU-BL SRT-4666CF-BL SRT-4666CFUM-BL SRT-4666CFM-BL	単相200V（深夜電力） 単相200V（昼間電力）	5.4kW 0.03kW	40A 15A・20A	8mm ² (φ3.2mm) φ1.6mm	VV VV
SRT-5566CFU-BL	単相200V（深夜電力） 単相200V（昼間電力）	6.4kW 0.03kW	50A 15A・20A	14mm ² φ1.6mm	VV VV

別売のエコオート用100Vトランス（BL-166CF）を取付けると、制御用の昼間電源を100Vで行うことができます。
【お知らせ】深夜電力で使用する場合は、上部わき増し、満タンわき増しはできません。

本体内部配線工事

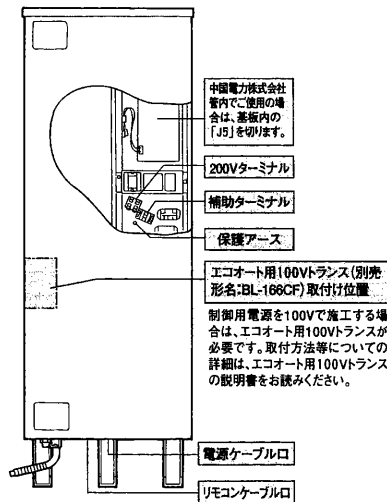
以下の配線工事を行なってください。

- 電源工事・保護アース（接地）工事・リモコン関連工事（6ページ）
- 各配線で使用されるケーブルは必要以上にたるませないでください。
- 前面カバーは右図を参照して開けてください。

1. 電源工事

この温水器は時間別電灯で使えるように内部配線されています。

「時間別電灯で使用する場合[B]」や「深夜電力で使用する場合[C]」の引込み配線を行うときは、内部配線の変更が必要です。
別売のエコオート用100Vトランス（BL-166CF）を使用する場合は、エコオート用100Vトランス同梱の工事説明書をお読みください。



【お願い】

常時通電で使用する場合（タイムスイッチ取付前等で、一時的に常時通電で使用する場合も含む）は、制御基板の「JB スライドスイッチ」を「常時通電」側にしてください。「TOU・深夜」側のまま常時通電で使用すると、2日目以降、わき上げを行いません。（時間別電灯または深夜電力で使用する場合は、「TOU・深夜」側のままご使用ください。）また、タイムスイッチ取付後は「TOU・深夜」側に戻してください。

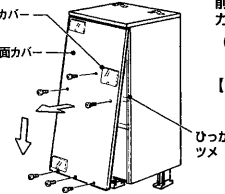
2. 保護アース（接地）工事

- 万一の感電事故防止のため電気設備技術基準および内線規程に基づき、必ず電気工事士によるD種（第3種）接地工事（接地抵抗値100Ω以下）を行なってください。
- 水道管、ガス管への接地、および他器具用アースとの共用はできません。
- 避雷針の接地と2m以上離してください。

- ①アース棒（純正別売部品）と市販のアース線（IV電線3.5mm² 緑色）を半田付または接続端子で接続します。
- ②アース線を電源ケーブル口から通し、200Vターミナル右下の保護アース（⊕マーク）に接続します。
- ③アース棒を湿気のあるところで地中30cm以上の深さに打ち込みます。（集合住宅の場合はアース配線に接続してください。）

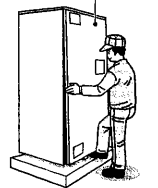
前面カバーの外し方

前面カバーのねじ（6本）を外したあと、前面カバーを上げながら手前に引いて降ろします。（前面カバーの取外し、取付けは右図のように行なってください。）



- 【お願い】●外した前面カバーは傷が付かないような場所に置いてください。また、操作カバーのつまみが壊れないように注意してください。
- 配線が終わったあと、前面カバーは元どおりねじ（6本）で確実にしめてください。

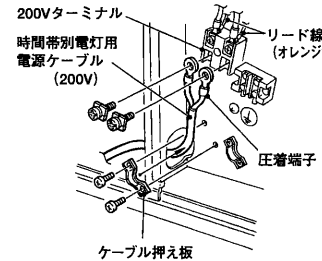
前面カバーは風で倒れるような場所には置かないでください。



時間別電灯で使用する場合[A]

- ①時間別電灯用電源ケーブルを電源ケーブル口から通し、200Vターミナルに接続します。
- ②ケーブル押え板で時間別電灯用電源ケーブルを固定します。

●締付トルク3.2N・m（33kgf・cm）以上
線間絶縁距離6mm以上

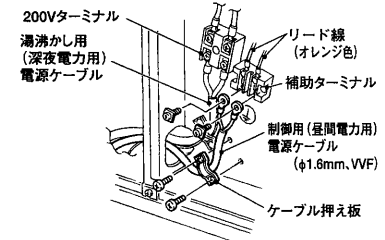


【お願い】ターミナルへの接続は付属の圧着端子を使用してください。

時間別電灯で使用する場合[B]

深夜電力で使用する場合[C]

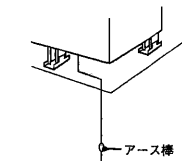
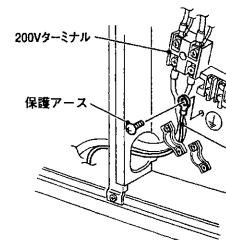
- ①200Vターミナルに接続してあるリード線（オレンジ色）を外し、補助ターミナルに接続します。
- ②制御用（昼間電力用）の電源ケーブルを電源ケーブル口から通し、補助ターミナルに接続します。
- ③湯沸かし用（深夜電力用）電源ケーブルを電源ケーブル口から通し、200Vターミナルに接続します。
- ④ケーブル押え板で電源ケーブルを固定します。



- 【お願い】●制御用（昼間電力用）電源ケーブルは、現品の表示（100V/200V）を確認して確実に接続してください。
- 200Vターミナルに付属している圧着端子を1サイズ小さいものに変更してください。

警告

必ずアース工事をする
工事に不備があると、
故障や漏電のとき感電することがあります。



リモコン関連工事

- リモコンは、三菱純正別売部品をご使用ください。別売リモコン以外では、わき上げできません。
- リモコンケーブルは、三菱純正別売部品（形名:LM-620またはLM-650）を設置条件に合わせて切断してご使用ください。

1. 浴室リモコン（別売 RMC-6B）取付け工事

浴室リモコン付属品

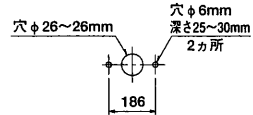
部品名	数量	部品名	数量
木ねじ	4	パッキン*	1
オールプラグ	2	取付パイプ（太）	1
カバー（パッキン付）	1	取付パイプ（細）	1
操作説明ラベル	1	工事説明書	1

*パッキンは、リモコンに付いています。
※パッキンは、仮取付けできる両面テープになっています。

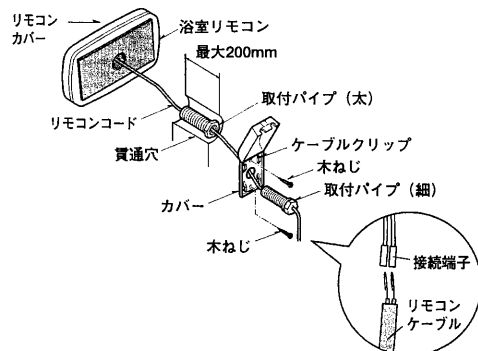
- 【お願い】・リモコン本体を分解しないでください。
・操作説明ラベルを浴室リモコンの近傍に貼付けてください。

コンクリート、タイルなどの壁に取付ける場合（壁貫通）

- ・壁厚200mmまで取付け可能です。
- ・壁に貫通穴（φ26～30mm）、オールプラグ用穴（φ6mm、深さ約30mm、2カ所）を明け、オールプラグを打ち込みます。



- ① マイナスドライバーなどで、リモコンカバーをケースからはずす。
- ② 取付パイプ（太）を壁の厚さに合わせてカットし、リモコンコードを通してリモコンにねじ込む。
- ③ 木ねじでリモコンを壁に固定して、リモコンコードをカバー、取付パイプ（細）に通して、取付パイプ（細）をねじ込み、カバーを木ねじ2本で止める。
- ④ リモコンケーブルの芯線を2つ折りして、リモコンコード接続端子に圧着する。
- ⑤ 接続部がカバーの内側になるようにケーブルクリップにリモコンケーブルを巻付けてカバーのふたをする。
- ⑥ リモコンカバーを取付ける。



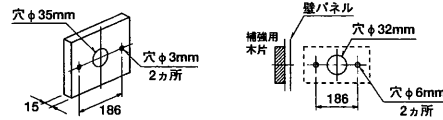
＜参考＞接続端子用手動式圧着工具
●日本圧着端子製造株式会社製 YNT-2216

取付け場所の選定

- 浴室リモコンは防水タイプですが、できるだけ湯や水がかかりにくい場所に取付けてください。
- カバーは湿気の少ない場所に取付けてください。
- リモコンケーブルの長さが50m以内になる場所に取付けてください。
- 浴室リモコンはスイッチ操作が容易にでき、表示が良く見えるところに取付けてください。

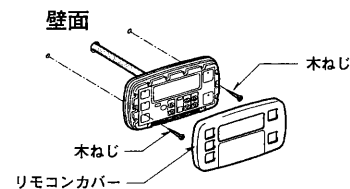
ユニットバスに取付ける場合（壁内配線）

- ・取付パイプ、カバー、オールプラグは使用しません。
- ・室内側からリモコンケーブルを通しておきます。
- ・壁にリモコンコード用穴（φ32mm）と、リモコン取付け用穴（φ6mm）をあけます。
- ・壁パネルに取付ける場合、裏側に補強用の木片を取付けます。（木片にリモコンコード用穴（φ35mm）とリモコン取付け用穴（φ3mm、2カ所）をあけます。）
- ・補強用の木片を接着剤などで壁裏面に付けます。
- ・木片は現地でご用意ください。



補強用木片参考寸法図

- ① マイナスドライバーなどで、リモコンカバーをケースからはずす。
- ② リモコンケーブルの芯線を2つ折りして、リモコンコード接続端子に圧着し、必ず、木ねじ2本でリモコンを固定する。
- ③ リモコンカバーを取付ける。



2. 台所リモコン（別売 RMC-6K）取付け工事

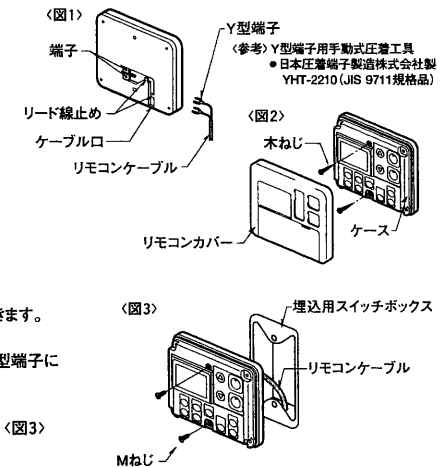
台所リモコン付属品

部品名	数量	部品名	数量
木ねじ	2	Mねじ	2
オールプラグ	2	Y型端子	2
操作説明ラベル	1	工事説明書	1

- 【お願い】・リモコン本体を分解しないでください。
・操作説明ラベルを台所リモコンの近傍に貼付けてください。

取付け場所の選定

- 台所リモコンは必ず屋内に取付けてください。
- 【お願い】台所リモコンは防水タイプではありません。下記の場所には取付けてください。
 - ・浴室など湿気が多いところ
 - ・直射日光のあたるところ
 - ・ガステーブルなどの高温（50℃以上）になるところ
 - ・蒸気や水しぶきのかかるところ
- リモコンケーブルの長さが50m以内になる場所に取付けてください。
- 台所リモコンはスイッチ操作が容易にでき、表示が良く見えるところ（目の位置より少し下側）に取付けてください。



壁面に取付ける場合（ケーブル露出配線）

- ① 下ケースの「ケーブル口」をニッパーなどで切欠く。〈図1〉
 - ② リモコンケーブルを付属のY型端子に圧着して端子に接続し、リモコンケーブルをリード線止めに止める。〈図1〉
 - ③ マイナスドライバーでリモコンカバーをケースからはずす。
 - ④ リモコンケースを木ねじ2本で壁に固定する。〈図2〉
- 壁がコンクリートブロックなどの場合は、オールプラグ用穴（φ6mm、深さ約30mm、2箇所）をあけてオールプラグを打ち込んでから木ねじ2本でリモコンケースを固定します。
- ⑤ リモコンカバーをケースにはめ、リモコンケーブルを壁に固定して温水器まで配線する。〈図2〉

リモコンケーブルを壁中に通す場合（ケーブル埋込配線）

- ・リモコン取付け位置に埋込用スイッチボックス（1個用）を取付けておきます。
 - ・リモコンケーブルを電線管に通し、温水器まで配線しておきます。
- ① 埋込用スイッチボックスから出ているリモコンケーブルを付属のY型端子に圧着して、端子に接続する。〈図1〉
 - ② マイナスドライバーでリモコンカバーをケースからはずす。
 - ③ リモコンケースをMねじ2本で埋込用スイッチボックスに固定する。〈図3〉
 - ④ リモコンカバーをケースにはめる。

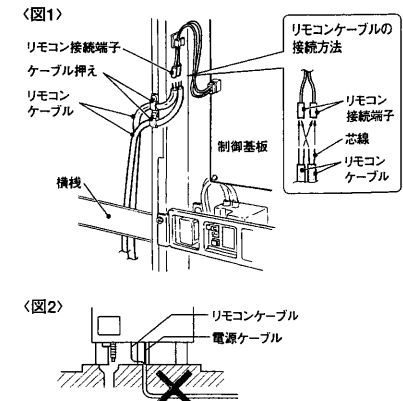
3. リモコンケーブルと温水器の接続工事

- ・台所リモコン、浴室リモコンの端子はどちらも無極性です。

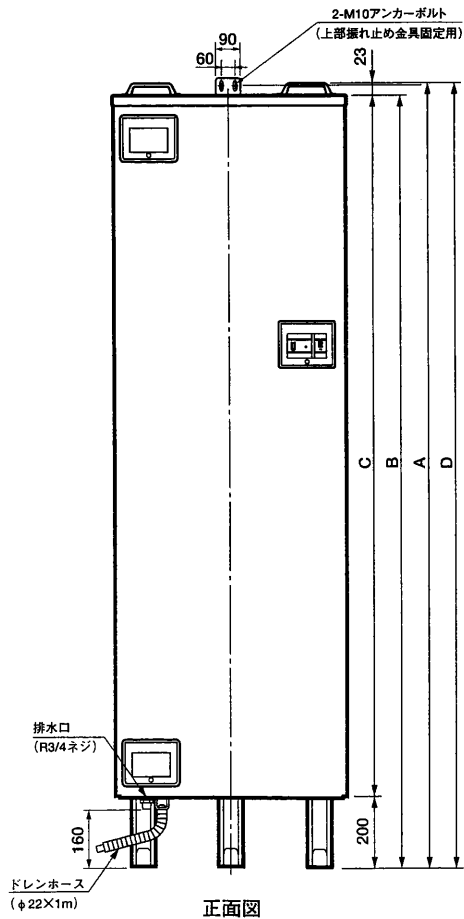
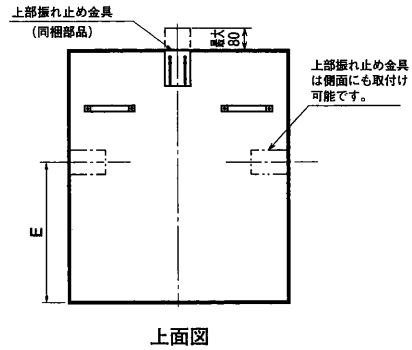
- ① 前面カバーを外す。
- ② リモコンケーブル口から各リモコンケーブルを通し、リモコンケーブルの芯線を、リモコンケーブル接続端子に圧着する。〈図1〉
＜参考＞接続端子用手動式圧着工具
●日本圧着端子製造株式会社製 YNT-2216
- ③ ケーブル押えでリモコンケーブルを固定する。

【お願い】

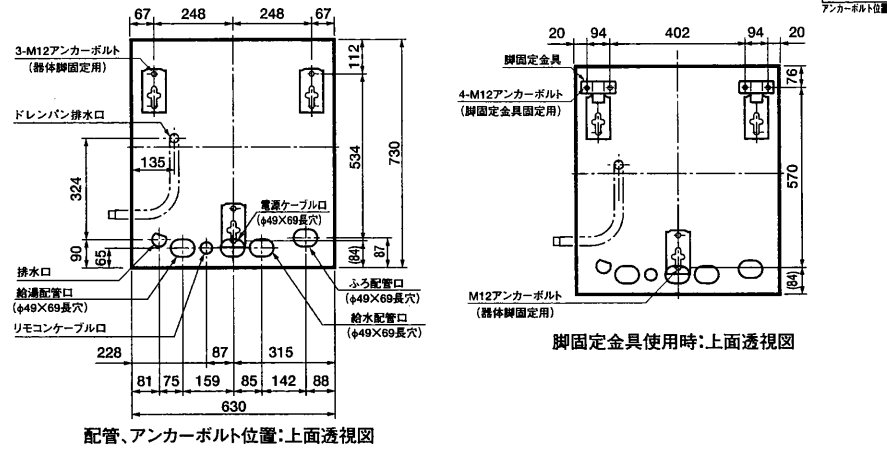
- リモコンケーブルどうの中継は誤動作の原因になりますので行わないでください。
- リモコンケーブルは電源ケーブルと離して（約5cm）配線してください。近いとノイズによる誤動作の原因になります。
- リモコンケーブルは、引っ張っても端子に直接圧力がかからないようにケーブル押えで確実に固定してください。
- 電源ケーブルとリモコンケーブルを同一パイプ内で配線しないでください。リモコンが誤動作する場合があります。〈図2〉
- リモコンケーブルを温水器のリモコン接続ターミナルに接続するときは、200V電源ブレーカーの電源レバーを「切」にしてから接続してください。
- リモコンケーブルは、本体内部の横棧の内側を通してください。



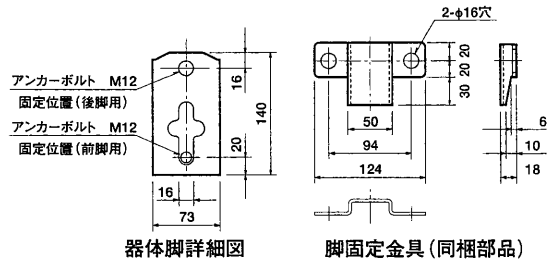
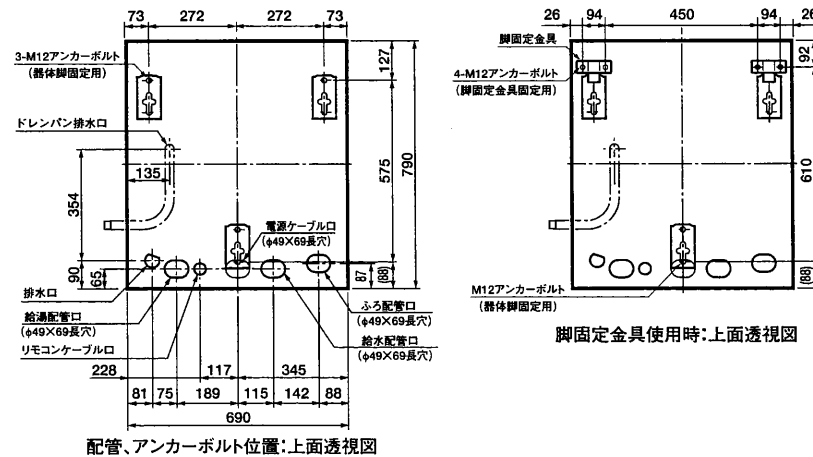
外形寸法図



370L、460L用



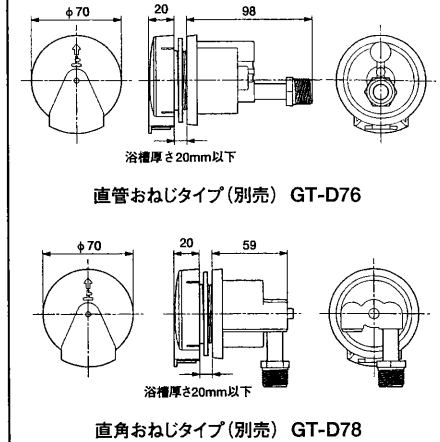
550L、ローボディ用



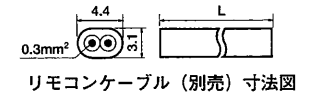
形名	SRT-3766CFU-BL SRT-3766CF-BL	SRT-4666CFU-BL SRT-4666CF-BL	SRT-5566CFU-BL	SRT-4666CFUM-BL SRT-4666CFM-BL
タンク容量 (L)	370	460	550	460
ヒータ定格消費電力 (kW)	4.43	5.43	6.43	5.43
質量 (kg)	80/ (75)	90/ (85)	95	90/ (85)
満水時	450/ (445)	550/ (545)	645	550/ (545)
寸法 (mm)	A	1,993	2,193	2,193
	B	1,870	2,170	2,170
	C	1,670	1,970	1,970
	D	1,900	2,200	2,200
	E	384	384	444

()は「標準圧力型」の数値です。

浴槽アダプター寸法図

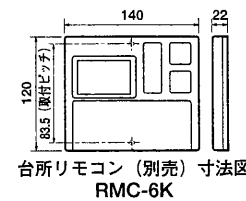
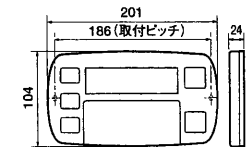


リモコン寸法図



形名	LM-620	LM-650
L(m)	20	50

VCT-FK 0.3 (相当品)



7. チェックリスト

据付工事後は、必ずお客さま立ち合いのもとで下表にあげたチェック項目を確認してください。
不具合があった場合は、必ず直してください。(機能が発揮できないばかりか安全性が確保できません。)

(○印の付いているチェック項目は、同封の工事確認書で確認してください。)

	チェック項目	ページ	工事確認書 確認項目	判定
据付け状態	①脚が固定(アンカーボルト及び脚固定金具)されていますか。(3カ所)	2	○	
	②満水時の重量(外形寸法図参照)に十分耐えますか。	2	○	
	③メンテナンススペースが確保されていますか。(本体は出し入れできますか。修理・点検はしやすいですか。)	2		
	④火気・引火物は近くにありませんか。	2		
	⑤排水・防水処理はしてありますか。	2	○	
	⑥上部を固定しましたか。(2階以上に据付けた場合)	2	○	
	⑦ケースに傷、変形はないですか。	1		
配管工事	①温水器専用止水栓は適切な位置についていますか。	3	○	
	②排水ホッパーはついていませんか。	3	○	
	③排水口は排水ホッパーの中心に合っていますか。	3	○	
	④排水口と排水ホッパーの間隔は50mm以上あいていますか。	3	○	
	⑤給湯配管材は耐食性、耐熱性に問題ない材質ですか。	3	○	
	⑥給湯配管に絶縁を考慮した配管材(L=500mm以上)が入っていますか。	3		
	⑦給湯配管に絶縁を考慮した配管材(L=500mm以上)が入っていますか。	3		
	⑧ふろ配管に絶縁を考慮した配管材(L=500mm以上)が入っていますか。	3		
	⑨ふろ配管途中に鳥居配管(1箇所)がある場合、高さは3.0m以内になっていますか。(湯はり誤動作の原因となります。)	3	○	
	⑩浴槽アダプターは当社純正別売部品を使用していますか。	3	○	
	⑪排水管材は90℃の温度に十分耐える材料になっていますか。	3	○	
	⑫絶縁パイプと金属管との接続部はインサートねじのものになっていますか。	3		
	⑬ドレンホースを排水ホッパーに導いてありますか。	3	○	
	⑭保温工事は適切ですか。	4	○	
	⑮凍結防止工事は適切ですか。(凍結防止ヒーターの使用など)	4	○	
	⑯各水栓、減圧弁のストレーナーは点検しましたが。(ゴミが入っていると湯の出が悪くなります。)	3	○	
電気工事	①電線(ケーブル)の太さは適切ですか。	5	○	
	②タイムスイッチ(深夜電力契約時)、ブレーカーはついていませんか。	5		
	③タイムスイッチ(深夜電力契約時)、ブレーカーの定格は十分ですか。	5	○	
	④電源は単相200Vですか。(別売のエコオート用100Vトランスを取付けた場合の制御用電源は100V)	5	○	
	⑤電源ケーブルと温水器の接続は、契約した制度(深夜電力、時間帯別電灯)に合わせて適切にされていますか。	5	○	
	⑥200Vターミナルの締付けは十分ですか。	5	○	
	⑦保護アース(接地)工事は確実ですか。	5	○	
	⑧ケーブル押え板は使っていますか。	5		
	⑨リモコンを温水器に接続しましたか。	6	○	
その他	①湯水混合栓からの流量は十分ですか。	3		
	②温水器周辺や配管からの水漏れはないですか。(ふろ配管からの水漏れはありませんか。)	-	○	
	③逃し弁のレバーを立てて排水栓を開いたとき、排水があふれ出ることはないですか。	3		
	④試運転は異常なく完了しましたか。	8	○	
	⑤漏電遮断器は切りましたか。(試運転確認完了後、すぐに入居しない場合など)	-	○	

8. 試運転

試運転はお客さま立ち合いで行なってください。
(湯はりが完了するまで確実に行ってください。)

- 【お願い】
- 深夜電力で契約している場合は、電力会社の了解を得て、タイムスイッチを通电状態にしてから試運転を行なってください。
 - リモコンの操作は取扱説明書をご覧ください。

1. タンクを満水にする
 - 逃し弁を開き、水が出ることを確認してください。
 - 減圧弁のストレーナーのゴミづまりを点検してください。(右図)
 - 水が出ない、出が悪い場合は、温水器専用止水栓が開いているか確認してください。また、各水栓のストレーナーも点検してください。
2. 200V電源ブレーカーを「入」にする(または分電盤の電源ブレーカーを「入」にする)
3. 漏電遮断器の電源レバーを「入」にして、動作を確認する
 - 手順4の前に、必ず、本体制御基板内のリセットスイッチ(SW4)を5秒以上押ししてください。
 - 「高圧力型エコオート」は、タンクに水が入っていないとリモコンに「F7」が表示されます。(満水になると消えます。)
 - 漏電遮断器のテストボタンを押してください。「入」になっていた電源レバーが「切」になれば正常です。点検が終わったら電源レバーを「入」に戻してください。(ピークシフトを解除します。)
 - ヒーターへの通電を確認します。(電力量計が動作し、台所リモコンに「通電中」が表示されます。)
 - 【お知らせ】 時間帯別電灯で使用を行う場合、初日と2日目は、昼間時間帯にもタンクをわき上ることがあります。
4. 台所リモコンで時刻設定を行う
5. 台所リモコンで温水器の湯温設定を行う
6. 湯はり動作を確認する(タンク内が水の場合でも、下記操作により確認できます)
 - 【お願い】 浴槽を空にしてから、湯はりの動作を確認してください。

①浴槽の容量を確認する

- 湯はり湯量は200Lで初期設定されています。一般的な浴槽では、設定変更しないで試運転湯はりをを行います。

②湯はりする

- 浴槽を空にして、浴槽の排水栓を閉じてから、「ふろ自動」スイッチを押します。タンク内が水の場合でも水で湯はりを開始し、設定した湯量を湯はりすると湯はり完了表示(一)が点灯します。
- タンク内が湯の場合は、浴室リモコンのふろ湯温設定「▼(低)」スイッチを押しながら「ふろ自動」スイッチを押すことで、タンク内の湯を使用せず水で湯はりができます。

【お願い】 水栓から浴槽への湯はりはしないでください。

【お知らせ】 ●湯はり時間の目安は右表を参照してください。
(配管施工上の条件や水漏れ水、蛇口などの使用状況により、多少ばらつくことがあります。)

③湯はり完了後、浴槽の湯量(水位)を確認し、お客さまご希望の湯はり湯量に設定する

- お客さまとご相談の上、ご希望の湯量(水位)になるようにふろ湯量設定「△(高)▼(低)」スイッチでふろ湯量を設定してください。(湯量20Lで浴槽水位は約3~5cm上下します。)

【お願い】 湯はりが異常の場合、浴槽を空にして本体制御基板のリセットスイッチを押し、湯はりをやり直してください。

7. 湯張り終了後、配管及び各配管の接続部から水漏れが無いか確認する

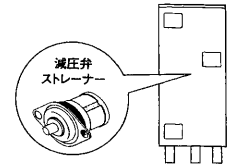
8. 上記以外のリモコン機能が取扱説明書の通りに操作できるかどうか確認する

- お客さまとご相談の上、ご希望の湯はり湯量になるようにふろ湯温設定「△(高)▼(低)」スイッチでふろ湯温を設定してください。
- お客さまとご相談の上、ご希望の給湯湯温になるように給湯湯温設定「△(高)▼(低)」スイッチで給湯湯温を設定してください。

9. 試運転終了後、必ず浴槽の水を排水する

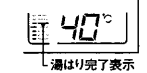
【お願い】 深夜電力で契約している場合は、試運転終了後、タイムスイッチの時刻を現在時刻に戻してください。

注意
通電はタンクを満水にしてから行なってください。



警告
漏電遮断器の動作を確認する(感電の原因)

湯はりが完了後の表示例



湯はりが終了、完了音「ピーー」が鳴り、湯はり完了表示が点灯(湯はり中は点滅)します。

湯はり時間(目安)

圧力タイプ	浴槽の湯量(湯量)	湯温が20℃の上を
高圧力型	約15~20分	約20~30分
標準圧力型	約20~30分	約30~40分

湯はり湯量42℃、湯はり湯量200Lの場合

9. お客さまへの説明

- 取扱説明書に基づいて、正しい使い方をお客さまにご説明ください。特に「安全のために必ずお守りください」の項は、安全に関する重大な注意事項を記載していますので必ず守るようご説明ください。

- 日常の点検、お手入れ方法などは、現品で具体的に説明してください。

- 寒冷地での凍結防止対策とその操作方法は具体的に説明してください。



- 長期間お使いいただくためには、定期点検が必要なことをお客さまにご説明のうえ、点検の相談や使用上の質問などに適切に対応してください。また、消耗部品(減圧弁、逃し弁、ヒーターパッキンなど)は定期的に交換が必要であることを説明してください。

- 保証書、工事確認書に所定事項をご記入のうえ、取扱説明書などとともにお客さまにお渡しください。

高圧力型

- 「高圧力型」を家庭用以外でご使用のお客さまには、同梱の「事業者さまへのご案内」を読んでいただくようお願いしていただきます。